

日本語版 Brief Fatigue Inventory (簡易倦怠感尺度)

【概要】

倦怠感は「身体的・精神的消耗を含む衰弱として特徴づけられる主観的症状 (a subjective symptom characterized by generalized weakness including physical and affective exhaustion)」と定義されます。倦怠感は終末期だけでなくがんのあらゆる臨床経過において生じ、また、手術・化学療法・放射線療法・造血幹細胞移植といった治療に伴って出現することも報告されており、その頻度は30-80%とされています。

Brief Fatigue Inventory は、がん患者の倦怠感を評価するための簡便な質問票で、アメリカの Dr. Cleeland らによって開発された尺度です。この尺度の特徴は1) 短くて、記入が簡単であること、2) 他の言葉に訳しやすいこと、3) 生活への支障を問う質問が含まれていること、です。また倦怠感の程度を、軽症、中等症、重症と分類することも可能なことです。

一方私たちが開発した Cancer Fatigue Scale は1) 日本で開発された尺度で、日本ではなじみやすい、2) 身体的、精神的、認知的という倦怠感の3側面を評価することが可能、3) 簡便、などの特徴があります。既にどちらの尺度とも信頼性、妥当性は確立していますので、評価の目的などによってこれらの尺度を使い分けてください。

【対象】

がん患者。

【項目数】

10 項目

倦怠感の有無 1 項目

倦怠感の強さ 3 項目

倦怠感による生活への支障 6 項目

【評価】

「この24時間の」倦怠感の強さと、生活などへの支障について評価します。

【採点方法】

9つの0-10数値評価尺度の平均点を算出して、Global fatigue score (総合的倦怠感スコア)とします。私たちの研究結果からは、軽症 1-3、中等症 4-6、重症 7-10と定義することが適切と考えています。

【尺度の出典】

Okuyama T, Wang XS, Akechi T, Mendoza TR, Hosaka T, Cleeland CS, Uchitomi Y. Validation study of the Japanese version of the brief fatigue inventory. J Pain Symptom Manage. 2003 Feb;25(2):106-17.

【参考文献】

Mendoza TR, Wang XS, Cleeland CS, Morrissey M, Johnson BA, Wendt JK, Huber SL. The rapid assessment of fatigue severity in cancer patients: use of the Brief Fatigue Inventory. Cancer. 1999 Mar 1;85(5):1186-96.

【使用許諾】

本尺度の使用にあたっては、その許諾の必要はありません。ただし、本尺度を用いた研究を発表する際には上記論文を出典として引用をして下さい。また可能であれば、論文の別刷、発表抄録を精神腫瘍学開発分野まで郵送して下さい。

<質問票使用時の注意点>一般的に、質問票を使用する際には、患者の状態に注意する必要があります。全身状態が重篤であるなど身体的問題のために施行が困難であったり、せん妄・痴呆など認知障害のために回答の信頼性に問題があったりする場合があります。また、質問票の内容やそれを使用する状況によっては、患者がストレスを感じる可能性もあります。従って、本質問票を使用する際にも常に、患者の身体的・心理的状态について十分な配慮をすることが必要です。

簡易倦怠感調査票

登録番号

病院番号

日付: _____ / _____ / _____

時刻: _____

氏名: _____

姓

名

だれでも一生のうちには、とても疲れたり、とてもだるかったりすることがあります。この1週間に、普通とは異なる疲れやだるさを感じましたか？

はい いいえ

1. あなたが今感じているだるさ（倦怠感、疲労感）をもっともよく表す数字1つに○をして下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
だるさ 0以上考えられない
なし ほどのだるさ

2. この24時間にあなたが感じた通常のだるさ（倦怠感、疲労感）をもっともよく表す数字1つに○をして下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
だるさ 0以上考えられない
なし ほどのだるさ

3. この24時間にあなたが感じたもっとも強いだるさ（倦怠感、疲労感）をもっともよく表す数字1つに○をして下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
だるさ 0以上考えられない
なし ほどのだるさ

4. この24時間のうちで、だるさがあなたの生活にどれほど支障になったかを、もっともよく表す数字1つに○をして下さい。

A. 日常生活の全般的活動
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった

B. 気持ち、情緒
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった

C. 歩行能力
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった

D. 通常の仕事（家庭外での仕事や毎日の生活における雑事を含む）
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった

E. 対人関係
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった

F. 生活を楽しむこと
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
支障なし 完全に支障になった